

訪問看護 スマイル通信

Vol. 91 R3. 5

マスクが暑い季節がまた始まりました。
来年はきっと・・・とっていたのですが、まだまだのようです。

Y様のおはなし

Y様（80歳代・男性）はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）で酸素を使用しています。

酸素濃度の低下などにて時々入院されています。

先日、退院カンファレンスに参加しました。最期は『在宅』をご希望、とのことで開かれたカンファレンス。病院の主治医から『COPDの末期の状態、他にも疾患はあるがリスクが高いため積極的な治療はできない、次のお誕生日も迎えられるかどうかわからない。』と説明されています。

Y様もそのあたりはすでに受け入れていらっしゃるよう。「家に帰りたい」と強く要望され、ここ2日間治療を拒否、今日は検温すら拒否。もう退院せざるを得ない状態、というか入院になっていない・・・と主治医も苦笑。(-_-)

私達が一番を確認したのは入浴。入院前Y様は毎日浴槽に浸っており、「しんどくてしっかり体が洗えない」と、訪問看護で週に2回介助していました。入浴直後は酸素濃度が低下し、酸素量アップして回復する状況。

訪問の無い日はご自分で短めに入浴されているとのことでした。

そんなY様ですから退院後も入浴は必須。きっと浴槽に浸かると・・・

リスクはかなり高いのですが、思い通りの生活ができるのが在宅の醍醐味。主治医も入浴を快諾。在宅酸素の量をアップできるよう手配してくださりました。

迎えた退院日。状態観察のため夕方に訪問。入院による体力低下や移動の疲れもあってか、やや脱力的で動きがゆっくりなY様。入浴はまずは2日後の訪問で。いつ何がおこるか分からない状態での入浴には私達も慎重です。

退院後初めての入浴は酸素供給量を増やし無事に終了。酸素濃度の著しい低下も無く、もちろん浴槽に浸かり。

しばらくは週1回の入浴で様子を・・・と計画し説明もしていましたが、案の定、次の訪問時には「あれから毎日自分で入浴している。」サラリとおっしゃるY様。「やっぱり・・・」と私達&ケアマネさん。(-_-)

こうなるだろう事はすでにカンファレンスで共有しておいた事態なので驚きませんが・・・(^_^)

さらにとっても活気が見られ。歩行もスタスタ。浴槽のまたぎも速く。「調子がいい」と多弁なご様子。

病院では食事が口に合わなかったようで、家に帰ってからは食欲もあるとのこと。確実に入院前より元気！

やはり自分の家で普段通りの生活することは、身体にとっても良い効果があるようです。ベッドやトイレなど、転倒や急変リスクをケアマネさんも色々と考えて下さりましたが、結局それまで通りを希望され元通りの生活。苦しさを取り除きながら日常の中で最期を迎える、これに勝るものはないように感じています。

365日平日料金にて訪問いたします！

「気管切開」「人工呼吸器装着」「吸引」「入浴介助」


「健康管理」「服薬管理」「腹膜透析」など、

どのような内容でも大丈夫です！

ぜひご連絡ください！

訪問看護ステーション スマイル

 <http://houmonsmile758.web.fc2.com/>

 TEL (052) 680-9761

 FAX (052) 680-9762

